

花巻市を拠点に活動する花巻金星少年少女オーケストラ(多田貢代表)のメンバーは今夏、韓国で開かれた麗水世界博覧会=EXPO 2012 YEOSU KOREA=のアジア・ジュニア・オーケストラコンサートに出演。他国で音楽に取り組む青少年と共に大舞台を踏み、音楽を通じて国際交流の輪を広げた。

一行は7月27日に花巻を出発し、28、29日

に韓国で演奏。31日に帰国した。公演の間には釜山市内観光やEXPO参観といった時間も設けられ、団員らが有意義な時間が過ごせるような配慮がなされた。

花巻の少年少女オーケストラを代表して参加した吉田祐菜さん(桜台小5年)、菊池溪花さん(宮野目小6年)、都鳥由衣乃さん(北上中1年)に、充実の演奏旅行を振り返ってもらおう。(3回続き、=写真は同行者提供)

花巻金星少年少女オーケストラ
演奏旅行
韓国
体験記

日本を離れる時はとてもワクワクしていたが、少し不安もあった。忘れ物はなかったか、韓国に行ってしまうことはないかなど...

着いてみると、車や建物の様子、人の顔まで日本とそっくりで驚いた。晋州城(古都の名所)では、天井の模様がカラフルで細かく、韓国らしさを感じた。

EXPO会場にはかわいいお土産がたくさんあり、うれしかった。大きな天井にある画面がいろいろ変わって、とてもきれい。釜山の水族館にはエイやカメ、クラゲ、カエルがいて、知らない魚もいた。

ガイドを務めてくれたヤンさんは、いろいろなことを教えてくれた。韓国の代表的な童歌を練習したり記念写真を撮影したりと楽しかった。別れる時は少し名残惜しかった。いつかまた韓国に行き、ヤンさんに会いたい。(吉田祐菜、桜台小5年)

カラフルな城、きれいなEXPO



美しく細かな模様が一行の感嘆を誘った晋州城



日本や韓国の青少年が出演したアジア・ジュニア・オーケストラコンサート。金星オケのメンバーも精いっぱい演奏した

花巻金星少年少女オーケストラ

演奏旅行



韓国での1回目の公演は、晋州の教会だった。初めて会った人たちが演奏するので「みんなについていけるかなあ」と不安だった。

教会に入ったら、今まで見たことがないほどの大きな場所。練習していた韓国の人たちはみんな上手そう

で、ますます不安は大きくなった。リハーサル演奏は速いテンポに付いていくのに必死でうまく弾けず、本番前はどこも緊張した。公演では演奏に夢中で頭の中が真っ白になり、指揮

者や楽譜を見るので精いっぱい。それでも管楽器や打楽器の音が聞こえると、すごく興奮した。あつという間に終わってホッとした半面、もう少し演奏したかったなあとも思った。

2回目の公演は、花巻市の文化会館に似た雰囲気があった麗水のホール。前日に皆と合わせていたのであまり不安はなかったが、本番ではやっぱり緊張した。

最初の指揮者は、日本でいつも教わっている南紳一先生。先生の顔を見たら安心し、その後指揮者が変わ

っても落ち着いて演奏できた。ほかの楽器の音もよく聞こえた。

弾いた曲は「カルメン」「アイーダ」「パイレーツ・オブ・カリビアン」など。テンポが速くて大変だったけれど、その速さが楽しかった。

南先生は「言葉は通じなくても、楽譜が読めれば世界中どんな人も演奏できる」と言っていたが、2回の公演を終えて「本当に、そうなんだなあ」と実感した。頑張れば音楽で通じ合えること、いつか沿岸の友達と一つになれることを信じ、これからも金星オーケストラの仲間と弾き続けようと思う。

(菊池透花、宮野目小6年)

世界中と音楽で通じ合える



高層マンションやビルが立ち並ぶ美しい町並み



花巻金星少年少女オーケストラ

演奏旅行

韓国 体験記

ガイドさんに「韓国第二の都市、日本でいう大阪のような土地柄」と説明された釜山は、世界の大貿易港の一つと言われるだけに、海には大型船がいくつも見えた。魚市場には多くの活

物を作れるのだという。日本同様に少子高齢化が問題になっていると聞いていたが、街には若い人が多かった。韓国の通貨はウォン。レートが円高ウォン安だけ

高層建築物並ぶ美しい町並み

魚やエビ、貝類が並び、購入したその場で調理してもらうこともできた。

に、物価は3〜4割ほど安く感じられた。3500ウォンビール1缶が2000ウォン(約140円)。果物のアイスクリームのパッケージ

町並みは高層マンションやビルが多く、外観が美しくかった。人口の6割はマンション暮らしといい、一軒家はほとんど見ることがなかった。地震がほとんどないため、安心して高層建築

に果物の絵柄はなく、ハンダ文字ばかりで英語併記もなし。ハンダ文字の読めない私は、食べてみるまで味が分からないという楽

しみ(?)もあった。食事は3食ご飯の文化だが、近年は共働きが増え、朝はパンという家庭も増えているという。そして、本当に毎食キムチが登場する。機内食にもサンドイッチと果物、ヨーグルト、そしてキムチ。日本の物よりからくて酸味があった。今回一緒に演奏した韓国人たちは、外見は日本人と変わりなく、言葉が分か

らないだけだった。言葉を紹介してのやり取りが全くできない中、楽譜だけを頼りに演奏ができて「音楽に国境はない!」と感じた。終了後は達成感と脱力感でしばしばぼんやりとした。もっと上手になって、また頑張りたい。(都鳥由衣乃、北上中1年)